

木津川市緑の基本計画

「人が耀き、豊かな緑と会話し、心ふれあう 交流のまち」



平成26年3月
木津川市



はじめに

私たちのまち「木津川市」は、社会経済情勢が大きく変化する中、より魅力的なまちの発展を目指し、平成19年3月12日、木津町・加茂町・山城町の合併により誕生いたしました。また、平成21年には、まちづくりの基本となる「第1次木津川市総合計画」を策定しています。

合併以前の旧3町において、それぞれ「縁の基本計画」を策定していますが、計画期間が概ね終了を迎えています。そのため、合併以前にそれぞれの町で策定されていた「縁の基本計画」等での位置付けや方向性等を尊重しつつ、新たな時代に対応した法制度の改定や地球温暖化などの環境問題への対応、さらには都市の成熟化といった社会的背景を踏まえ、市域一体としての「縁の基本計画」を策定することといたしました。

本市は、関西文化学術研究都市の一翼を担う都市として、研究施設や企業立地が進むとともに、京都府内では京都市に次ぐ数の国指定文化財を有し、木津川などの河川や里地里山に代表される自然環境に恵まれています。そのため、まちづくりのテーマとして、こうした資源を活かし、市民をはじめ、都市内外の人の交流促進を目指しており、その際、市の将来像の実現に向けて、「縁」を有効に活用することとしています。

本計画は、「縁」を市民共有の財産として位置付け、市民の参加と協働により、創り・育て・活かすため、基本理念を「人が耀き、豊かな縁と会話し、心ふれあう 交流のまち」といたしました。

計画推進にあたっては、市民の皆様とまちづくりの理念を共有し、学識経験者を含め、市民、団体、事業者及び行政など地域にかかわる多様な主体が、それぞれの関心や有する特性を活かして連携・協働し、新たな縁の保全・活用のプロジェクトとして全市的な取組みを図ってまいります。

結びに、計画の策定にあたり、アンケート調査にご協力いただき、貴重なご意見をお寄せいただいた多くの市民の皆様をはじめ、木津川市縁の基本計画策定委員会委員の皆様、並びに関係各機関の皆様に心から感謝を申し上げます。

京都府木津川市長 河井規子

平成26年3月